

まずは留学したい国を見付けましょう

自分に合った国を選ぶために

自分に合った国の見付け方

世界には数多くの大学があります。その中で、どのように自分に合った大学を探したらよいでしょうか。

海外には膨大な数の大学があり、1校1校確認していくのはとても大変です。ここでは大学の教育システムの観点から、自分が行きたい国を見付ける方法をお伝えします。

大学の2つのタイプ

日本の大学は、最初に専攻を決めて受験します。一方海外の大学は、必ずしもそうとは限りません。まずはその点に着目してみましょう。

海外の大学の教育システムは、大きく2つのタイプに分かれます。ひとつは最初に専攻を決めて入学し、あとでそれを変更することもできるシステム（アメリカ型）、もうひとつは日本のように専攻を最初に決めて大学に入学するシステム（イギリス型）の大学です。

アメリカ型の大学とは

アメリカ型の大学は、基本的に4年間で大学を卒業します。最初の2年間は一般教養を学び、次の2年間で専攻科目を学びます。そのほか2年制大学で一般教養を学び、4年制大学の3年次に編入して専攻科目を学んで卒業する方法もあります。

そのため、「今はやりたいことが見付からないが、海外の大学に留学したい」という人は、まずはアメリカ型の国を目指すと良いでしょう。

アメリカ型の国としては、アメリカ、カナダなどが挙げられます。

イギリス型の大学とは

イギリス型の大学は、基本的に3年間で大学を卒業します。大学では専門課程のみを学ぶため、日本人留学生は基礎知識を得るために入学前に大学進学準備コース（ファウンデーションコース）で約1年間学びます。

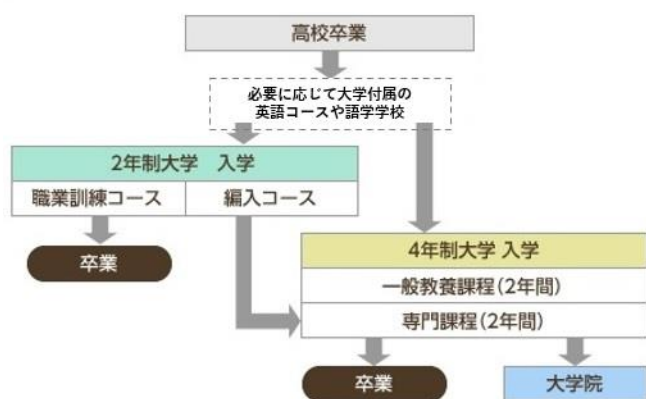
大学進学準備コース（ファウンデーションコース）では、授業中のノートの取り方やリサーチの方法などのスタディスキルのほか、専攻科目の基礎知識となる授業を学ぶ必要があります。

また教育の特色として、教授による個別指導形式（チュートリアル）も挙げられます。学びたいことがイメージできている人、教授と密に対話しながら研究を進めたい人はイギリス型の大学を目指すとよいでしょう。

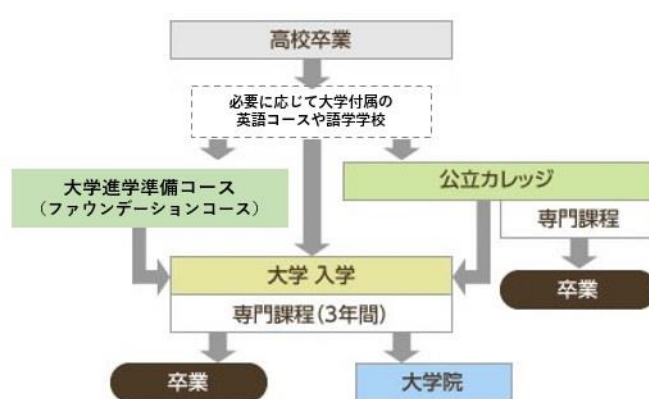
イギリス型の国としては、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなどが挙げられます。

もうひとつの方法として、日本の高校を卒業後、イギリスの公立カレッジ（オーストラリア、ニュージーランドの高等専門教育機関等）で約2年間学び、大学に編入するという方法が挙げられます。

アメリカ型



イギリス型



その他の点からも検討を

大学選びは教育システム以外にも、検討すべき点があります。専攻を決めていくうえで、学びたい分野が強い国があれば、ぜひ候補に入れておきましょう。